

もくじ



今月の表紙
『和宏ベンダー(株)』

事業所データ

◆代表者
代表取締役 原田 哲

◆所在地
加古川市平岡町高畑字皿池538-1

◆電話
079-426-2167

◆ホームページ



◆表紙写真

- ①5月末に完成したメンテナンス倉庫前にて(前列の左から4番目が原田さん)
- ②和宏ベンダーの社名の由来には、お客様との「和」を、「宏」広げるといふ想いが込められています。
- ③「自販機のことなら何でもお任せください!」と原田社長には力強くご質問にお答え頂きました。
- ④日々のオペレーション業務だけでなく、お客様との繋がりも大切にお仕事に取り組まれています。
- ⑤赤いパッケージのオリジナル自動販売機で是非お買い求めください!

2 特集	変わる時代、変わる経営。社員の「元気」が会社の力! ～健康経営とメンタルヘルス対策が拓く未来～
7 クローズアップ	「まち」と「ひと」を繋ぐコミュニティコーディネーターとして NPO法人シミズシーズ 事務局長 柏木 輝恵 さん かわのまちほいくえん 園長
9 エッセイ	「支える仕事に、私が支えられた日」 Nキッチン/いろはのお家 代表 杉本 望光 さん
11 会議所のうごき	「第71回優良従業員表彰式」を開催 他
12 会員さんNOW	令和7年 加古川市功労者表彰 受章
12 団体だより	青年部・女性会・異業種交流会
13 会議所からのお知らせ	「印刷物入札」 他
15 所報サービス	クラウドな話 「年々高まる熱中症危険度」
16 インフォメーション	関係機関からのお知らせ
16 会議所カレンダー	「今月の“こんな日”」

ご覧ください加古川商工会議所のホームページ <https://kakogawa-cci.or.jp/>



暑い時期に「冷たい飲み物が飲みたい!」ふと、そう思った時に街角で見かける自動販売機。今月の表紙は1971年の創業以来、自動販売機のオペレーション事業を手掛ける和宏ベンダー(株)です。現在では、約4,000台もの自動販売機が西はたつの市、東は大阪府までのエリア内で稼働しています。

当社の強みを一言で答えると「時代に合わせた提案力」だと代表取締役の原田さんは話します。オペレーションの提案から、商品の供給や定期訪問、そしてメンテナンスまで自動販売機に関するあらゆるニーズにワンストップで応えることができます。サントリーやコカ・コーラといった大手メーカーの自動販売機はもちろん、自社オリジナルの自動販売機まで、多様な選択肢の中からお客様のニーズに最適な一台を選べるのが魅力です。顧客層も個人商店から法人まで、幅広く支持されているのも納得の理由です。

大きな転換期となったのは、消費税増税のタイミング。従来価格から10〜20円の値上げを余儀なくされる中、コンビニエンスストアのカウンターコーヒーの登場も重なり、自動販売機の利用者減少が懸念されました。そこで同社は、100円という低価格帯でコーヒーなどの飲料を提供できる「オリジナル自動販売機」の販売に注力。当初は50台程度だったオリジナル自動販売機は、現在は約1,800台まで増え、赤いパッケージに可愛らしい犬のキャラクター「ワンダーくん」をあしらった外観は親しみを感じさせる存在となりました。

オリジナル自動販売機の強みは、商品の自由度の高さにあります。様々なメーカーの商品や期間限定の商品を柔軟にラインナップできるため、消費者を飽きさせない工夫が可能です。社員一人ひとりが「トライ&エラー」を合言葉に、新商品の開拓にチャレンジされています。

さらに、今年の4月からはメンテナンス部門を新設し、メンテナンス業務の内製化をスタート。5月末にはメンテナンス倉庫も完成し、より迅速かつ質の高いサービス提供体制を整えました。また、メンテナンス部門には元現場スタッフも在籍予定で、社員が長く安心して働ける環境づくりに貢献しています。

今後は、自動販売機のことなら何でも任せてもらえる「トータルベンディングカンパニー」として、ますます事業を拡大していく構えです。関西一円でNo.1の自動販売機ベンダー会社を目指す和宏ベンダーの挑戦から、今後目が離せません。